

商 工 観 光 部

商 工 振 興 課

観光まちづくり推進課

1 商工業振興事業

市内商工業の振興及び発展を図るため、商工会や商店会への補助のほか、イベント開催の支援等を行った。また、市内中小企業の健全な育成及び経営改善を図るため、融資及び利子補給事業を行った。

(1) 商工振興補助事業

ア あきる野市商工会補助事業

商工会事業補助額 26,604,000円

イ あきる野活力みなぎる交付金

(ア) 住宅改修工事等助成事業

商工会事業補助額 10,000,000円

地域経済の活性化につながる需要の喚起を促進するため、個人住宅の改修工事等の一部を助成した。

a 補助決定数 183件

b 助成金額 10,724,000円

(イ) ご当地グルメ情報発信支援事業

商工会事業補助額 500,000円

包括的な相互協力・連携に関する協定を締結している学校法人明星学苑明星大学の学生の協力により「武蔵五日市グルメマップ」を作成し、広く情報発信するために公共施設や駅・店舗へ配置した。

(ウ) まちゼミ事業

商工会事業補助額 800,000円

店主と消費者との接点を増やし、来客数増加による経済効果と認知度の向上を図るため、店主が講師となって、専門知識などを無料で受講者に提供する「まちゼミ」を行った。

a 実施期間 令和5年8月1日から9月15日まで

b 参加店舗 23店舗

c 開催講座 37講座

d 参加者 575人

ウ 創業就労支援事業

商工会事業補助額 14,300,000円

あきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Staにおいて、創業、就労、事業承継に係る相談業務などを実施し、市内事業者を支援した。

(ア) 相談実績 413件（創業相談296件、就労相談37件、事業承継相談13件、スモールオフィス相談67件）

(イ) 創業実績 16件

(ウ) 創業塾 令和5年9月30日から10月28日まで（全5回） 参加者11人

(エ) チャレンジショップ利用実績 0件

(オ) スモール・オフィス利用実績 67件

(カ) ミニセミナー 12回 参加者38人

(キ) 事業承継セミナー 令和5年9月7日 参加者19人

(ク) B i @ S t a 利用者・創業者交流会 令和5年12月5日 参加者21人

エ 商店街振興補助事業

(ア) イベント事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商 店 会 名	事 業 名	補 助 額 (円)
あきる野商店会連合会	お花プレゼントセール	397,000
	あきる野マルシェ	546,000
秋川駅北口会	秋川駅北口会フェスティバル	166,000
	秋川駅北口会ハロウィン抽選会	453,000
原店商店会	原店歳末セール	730,000
野辺商工会	ワッショイ・ワッショイセール	434,000
五日市商和会	お中元大売出し	465,000
	歳末大売出し	464,000
秋川駅南口商店会	さくらまつりセール	610,000
	ウィンターフェスタ	444,000
二宮商栄会	二宮マルシェ	366,000
増戸商栄会	増戸ますます市・顔出しパネルラリー	930,000
多西商栄会	感謝セール	125,000
	歳末感謝セール	133,000
雨間商興会	雨間商興会春祭り	52,000

(イ) 活性化事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商 店 会 名	事 業 名	補 助 額 (円)
二宮商栄会	店前景観整備事業	132,000

オ 商店街装飾灯補助事業（装飾灯の維持管理経費に対する補助）

商 店 会 名	基 数 (基)	補 助 額 (円)
原店商店会	L E D 34	68,000
五日市商和会	L E D 80	160,000

カ 夏まつり補助事業

開 催 日	令和5年8月5日
場 所	J R 秋川駅北口駅前大通り周辺
来場者数	約26,000人
補 助 額	3,783,638円（第18回あきる野夏まつり運営委員会補助）

キ ヨルイチ補助事業

開 催 日	令和5年8月26日
場 所	檜原街道沿いの地域（J R 武蔵五日市駅～小中野交差点）
来場者数	約20,000人
補 助 額	676,000円（第19回ヨルイチ実行委員会補助）

ク 産業祭補助事業

開 催 日	令和5年11月11日、12日
場 所	都立秋留台公園
来場者数	約30,000人（1日目15,500人、2日目14,500人）
補 助 額	7,211,520円（第27回あきる野市産業祭運営委員会補助）

ケ キャッシュレス決済ポイント還元事業

商工会事業補助金 76,754,564円

物価高騰の影響により、多くの中小企業者や市民が影響を受けている状況を踏まえ、地域経済の活性化及び市民の生活応援を図るとともに、キャッシュレス決済の推進を図るため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施した。

(ア) 実施期間 令和5年10月1日から12月28日まで

(イ) 実施内容 対象のキャッシュレス決済を利用して商品を購入する際に、決済金額の最大20%をポイントとして付与する。

(ウ) 対象となるキャッシュレス決済 au PAY、d払い、PayPay、楽天ペイ、楽天Edy

(エ) 取扱店舗数 469店舗

(オ) 決済額 321,842,689円

(カ) 還元額 55,734,475円

(2) 中小企業振興資金融資及び小口零細企業保証資金融資並びに利子補給事業

ア 融資件数 57件

イ 融資額 361,000,000円

	利子補給件数(件)	利子補給額(円)
上半期	186	933,025
下半期	202	1,077,587

ウ 保証料助成額 7件 175,031円

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数(件)	利子補給額(円)
上半期	173	3,743,704
下半期	205	4,358,202

2 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

(1) 秋川駅周辺地区産業活性化戦略委員会

ア 会議 5回

イ 実施事業

(ア) イルミネーション事業

Akiruno Winter Festival 2023 事業

秋川駅周辺地区への誘客及び活性化を図るため、令和5年11月25日から令和6年1月31日まで、秋川駅北口ロータリー、秋川駅南口ロータリー及び駅前大通り(30m道路)にイルミネーションを設置及び点灯した。

(イ) 秋川駅周辺地区まちづくり推進事業

秋川駅前ハロウィンイベント事業

秋川駅周辺地区の産業振興を図るため、令和5年10月29日に、秋川駅周辺店舗によるスタンプラリーや秋川駅南口運動広場でのビンゴ大会などを実施した。

(2) 五日市活性化戦略委員会

ア 全体会議 6回

班長会議 6回

イ 実施事業

(ア) 五日市地区にぎわい創出事業

a 第8回秋川溪谷雛めぐり事業

五日市地域の魅力発信及び誘客促進による地域活性化を図るため、令和6年2月3日から3月3日まで、武蔵五日市駅及び武蔵増戸駅周辺の商店や公共施設等にお雛様等を展

示した。

b 五日市ファーマーズマーケット

五日市ひろばにおいて、地域の様々な世代の方が交流する場を創出するため、令和5年11月18日に五市マルシェと同時開催で地域で採れた野菜の販売、キッチンカーの出店、キッズダンスなどのイベントを実施した。

c 雛フェス

五日市ひろばにおいて、第8回秋川溪谷雛めぐりに併せて、令和6年3月2日に春の訪れを楽しむ音楽祭を開催し、アーティストによる演奏、地域で採れた野菜の販売、キッチンカーの出店、キッズダンスなどのイベントを実施した。

d 五市マルシェ

武蔵五日市駅前ロータリー沿いにおいて、秋川流域の商工業者が出店するマルシェを開催した。JRとの調整を行い、国立駅や国分寺駅で出張マルシェを開催したり、中央線沿線の各駅へポスターを掲出することで秋川溪谷の魅力を広くPRした。

また、SNSを活用し、出店者情報や観光情報を更新することで、地域の内外へ情報発信を行った。

(イ) 五日市まちづくり推進事業

a まちづくり通信

五日市地域における店舗情報やイベント情報等をまとめた地域紙である「五日市まちづくり通信」について、公共施設や各商店へ配置するとともにSNSを活用することで、地域内外に情報発信を行った。

b 空き店舗空き家まち歩きツアー

地域内の空き物件を調査し、賃貸可能な空き家・空き店舗を掘り起こした上で、令和5年11月17日から18日まで、まち歩きをしながら物件を見学する「東京五日市せせらぎ暮らし（まち歩き物件見学ツアー）」を実施し、参加された27人に対し、五日市地域の魅力をPRし、開業・移住への支援を行った。

c 五日市まちづくり協議会

五日市地区の商店会や事業者などが連携し、五日市地区の活性化に必要な取組の協議や情報共有を行う組織である「五日市まちづくり協議会」の支援を行い、全体会議を2回、ワーキンググループ会議を1回開催し、イベントや観光情報の共有を行い、地域の課題について意見交換を行った。

(3) 養沢活性化委員会

ア 会議 9回

イ 実施事業

(ア) 景観整備事業（養沢川沿いの景観整備）

(イ) 果樹園整備事業（ブルーベリー園の整備及びブルーベリーの販売）

(ウ) ホタル育成事業（カワニナ及びホタルの養殖、ホタル観賞会及びマルシェ養沢の実施）

(エ) 空き家対策事業（空き家調査及びパンフレットの作成・配布）

3 中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

特定の要件により経営の安定に支障が生じている中小企業者について、信用保証協会による保証限度額の別枠化を行うため、特定中小企業者として認定した。

- (1) 事業活動の制限（法第2条第5項第2号） 1 件
- (2) 突発的災害（自然災害等）（法第2条第5項第4号） 7 3 件
- (3) 業況悪化業種（法第2条第5項第5号） 1 6 件

4 大規模小売店舗立地法に基づく届出

- (1) 新設の届出 0 件
- (2) 変更の届出 0 件

5 砂利採取法に関する意見聴取

秋川の河川保全区域を含む土地における砂利採取計画については、砂利採取法の規定に基づき、都から砂利採取事業者が令和5年4月1日から令和7年3月31日まで認可（更新）を受けており、当該事業者が砂利採取を継続しているため、令和5年度は意見聴取を行わなかった。

- (1) 新規砂利採取件数 0 件
- (2) 継続砂利採取件数 0 件

6 消費者行政関係

消費者トラブルの解決を図るため、消費者相談を実施した。また、消費生活の安定及び向上を図るため、講座や啓発事業を実施した。

(1) 消費者相談

- ア 開催日数 9 6 日
- イ 相談件数 2 1 2 件

(2) 消費生活講座

開催日	講座名	受講者数(人)
令和5年 4月20日	小宮ふれあい交流事業	1 0
7月26日	夏休み子ども消費生活講座「知ろう地域の名産品！～『あきる野の匠』が教える！しょうゆづくりとMYしょうゆづくり体験～」	2 1
12月 7日	小宮ふれあい交流事業	9
12月 8日	東京都共催消費生活講座「はじめての資産運用～将来への備えと被害にあわないための基礎知識～」	1 6

(3) 消費者啓発

- ア 新成人への消費者被害防止啓発リーフレット（若者用）配布
- イ 広報「あきる野」への消費生活情報掲載
- ウ 消費者啓発物品の作成・配布
- エ 産業祭会場での消費生活展によるパネル展示

(4) 西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談広域連携連絡会議

西多摩地域8市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町及び檜原村）における消費者行政の円滑な推進及び相談広域連携の円滑な運営を図ることを目的とし、消費生活相談の相互受付を実施した。

7 労働行政関係

ハローワーク及び東京しごとセンター多摩と共催でセミナーを実施し、就労支援に係る情報を広

報やホームページに掲載することで、市民の就職活動を支援した。

(1) あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア 来所者 7, 516人(求職者7, 477人、求人者39人)

イ 就職者 588人

(2) 労働セミナー及び面接会

ア 中高年齢者就職支援セミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内 容	参加者数(人)
令和5年 7月14日	応募書類の作成、面接の受け方等	19
令和6年 1月12日		19

イ 面接会(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	参加企業数(社)	参加者数(人)	採用人数(人)
令和5年 7月14日	2	4	2
令和6年 1月12日	2	6	2

ウ 就職支援セミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内 容	参加者数(人)
令和5年 4月24日	自己理解・職業理解(座学)	12
5月29日	自己理解・職業理解(座学)	37
6月26日	面接対策(ロールプレイ)	3
7月31日	面接対策(座学)	33
8月28日	応募書類の書き方(座学)	26
9月25日	自己理解・職業理解(座学)	30
10月31日	書類選考対策(個別)	3
11月27日	面接対策(座学)	15
12月25日	応募書類の書き方(座学)	16
令和6年 1月29日	自己理解・職業理解(座学)	25
2月26日	面接対策(ロールプレイ)	5
3月25日	面接対策(座学)	24

エ お母さんの就職応援セミナー(ハローワーク青梅との共催事業)

開催日	内 容	参加者数(人)
令和5年10月13日	ハローワークの概要	5
令和6年 3月 8日	就職活動準備 応募書類の作成、面接対策	3

オ 就職面接会(東京しごとセンター多摩との共催事業)

開催日	参加企業数(社)	参加者数(人)	開催場所
令和5年 7月 7日	20	32	S&Dたまぐーセンター (青梅市)
9月15日	20	36	都立多摩職業能力開発センター

8 五日市ひろば利用状況

五日市ひろばを市民の交流の場として開放することで、商店街の振興と地域産業の総合的な発展を図った。

使用承認 件数(件)	使用料				使用承認 日数 (日)	使用承認 人数(人)
	件数 (件)	徴収分(円)	件数 (件)	減免分(円)		
32	16	33,600	16	123,000	136	12,257

9 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

地域産業の活性化を図るため、ＪＲ青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結び付け、取引、連携、協働、協業及び健全な競争を促進した。

(1) 会議

ア 運営協議会	1 回
イ 事務局会議	4 回
ウ ワーキンググループ	5 回

(2) 事業

ア 人材育成事業

(ア) 新入社員研修 (全 2 回、延べ 33 人)

(イ) 中堅社員研修 (全 2 回、延べ 26 人)

(ウ) 管理職研修 (全 2 回、延べ 8 人)

イ 人材確保支援事業

(ア) 中小企業向けセミナー (羽村市産業福祉センター)

開催日	参加者数 (人)
令和 5 年 11 月 29 日	6

(イ) 中途採用向け合同企業説明会

a 事前対策セミナー (アキシマエンス (昭島市))

開催日	参加者数 (人)
令和 5 年 9 月 6 日	32

b 直前対策セミナー (都立多摩職業能力開発センター)

開催日	参加者数 (人)
令和 5 年 9 月 15 日	14

c 面接会 (都立多摩職業能力開発センター)

開催日	参加者数 (人)	参加企業数 (社)
令和 5 年 9 月 15 日	36	20

ウ 企業間連携事業

採用担当者向け講習会

開催日	参加者数 (人)
令和 5 年 11 月 27 日	5

エ 販路開拓支援事業

ポータルサイト運営事業 掲載企業数 45 社

サイト運営のために使用していたサーバーの使用期間満了に伴い、令和 5 年 9 月 30 日にサイト運営を終了した。

10 栗原市民まつりへの参加

友好姉妹都市である宮城県栗原市において、令和 5 年 8 月 26 日に開催された「2023 栗原市民まつり」に参加し、あきる野市の特産品の PR 等を行った。

11 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定

中小企業の実産性向上を図るため、生産性向上特別措置法に基づき市内中小企業の実端設備等導入計画を認定し、設備投資を支援した。

- (1) 先端設備等導入計画の認定を受けた事業者 6 事業者
 (2) 提出済みの先端設備等導入計画を変更した事業者 0 事業者

12 あきる野市商工業振興プラン推進会議

あきる野市商工業振興プランに基づき、実施主体と連携し、各個別施策について進捗状況の共有や次年度の事業実施に向けた見直し等を行った。

	開催日	内容(議事等)
第1回	令和5年 4月21日	・あきる野市商工業振興プラン推進会議について ・あきる野マルシェについて
第2回	10月 6日	・令和5年度実施事業の進捗状況について

13 寄附採納(ふるさと納税)

自主財源の確保を図るため、ふるさと納税の取組を周知し、寄附を募ることで寄附を活用したまちづくりを推進した。

(1) 個人版ふるさと納税

件名	件数	金額(円)
一般寄附金	354	8,144,000
保健福祉事業指定寄附金	74	1,614,000
環境保全事業指定寄附金	225	5,886,000
産業振興事業指定寄附金	39	879,000
公共施設整備事業指定寄附金	17	335,000
安心安全まちづくり事業指定寄附金	30	526,000
教育文化事業指定寄附金	79	2,009,000
合計	818	19,393,000

(2) 企業版ふるさと納税

件名	件数	金額(円)
保健福祉事業指定寄附金	3	800,000
環境保全事業指定寄附金	0	0
産業振興事業指定寄附金	2	3,000,000
公共施設整備事業指定寄附金	1	100,000
安心安全まちづくり事業指定寄附金	0	0
教育文化事業指定寄附金	0	0
フィルムコミッション事業指定寄附金	1	110,000
合計	7	4,010,000

1 秋川溪谷観光推進事業

秋川溪谷を活用した観光推進を図るとともに、地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、観光客の誘客と地域の活性化を図ることができた。

(1) 観光ボランティアガイド事業

武蔵五日市駅前において、5月から11月まで（7月及び8月を除く。）の土曜日、日曜日及び祝日の午前中に、観光ボランティアガイドによる観光案内を実施した。

ア 案内日数 合計17日間

イ 案内件数 44組91人

ウ 観光ボランティアガイド研修会 3回開催（令和5年5月9日、10月5日、11月13日）

エ 予約制ガイドツアー 1回開催

ツアー名	歴史文化に触れる紅葉めぐり
開催日	令和5年11月18日
コース	武蔵五日市駅～秋川橋河川公園～小和田橋～広徳寺～見晴らし通り～広徳寺～佳月橋～沢戸橋～戸倉しろやまテラス（約6km）
内容	秋川溪谷を観光ボランティアガイドの解説で巡る。
参加者	10人（従事ガイド7人）

(2) 観光客誘致促進事業（市後援事業）

開催日	事業名
令和5年 4月 2日	第15回ハセツネ30K大会
4月 8日	第15回ハセツネ30K大会 春のグリーンフェスティバル
4月 8日 ～7月 2日	花とアートと昭和の五日市町展
令和5年 4月15日 5月20日 6月17日 8月12日 9月 9日 10月21日 11月18日 令和6年 3月16日	五市マルシェ
6月 9日 ～7月16日	秋川溪谷あじさいまつり
6月18日	第52回東京ブロック大会あきる野大会
8月26日 27日 11月12日	第4回きく・かく・えがく～東京のふるさと・自然公園～
10月 8日 9日	第31回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」
10月14日	第31回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」 秋のグリーンフェスティバル
10月20日 ～10月22日	ウクライナ避難民オータムキャンプ
10月27日 ～11月26日	あきがわアートストリーム2023
11月18日	第5回秋川流域花火大会
11月23日 ～12月10日	花とアートと昭和の五日市町展
令和6年 1月 1日 ～3日	武蔵五日市七福神巡り

2月 1日 ～ 7月 7日	第2回花とアートと昭和の五日市町展
2月 24日 3月 9日	秋川クリーンアップ活動／秋川“四季の奏で”音楽会 (秋川クリーンアップ活動は天候不良のため中止)
3月 10日	あきる野の奏で in 秋留野広場
3月 31日	第16回ハセツネ30K大会

(3) 広域観光まちづくり事業（市町村実施事業）

秋川流域観光フェア

開催日	令和5年7月8日
場所	イオンモール日の出 1階レストラン街中央スペース
内容	観光パンフレットの配布、特産品販売

(4) 秋川溪谷Wi-Fi整備

公衆無線LAN「Akigawa Keikoku Free Wi-Fi」について、公共施設10箇所、民間事業所3箇所ですべてサービスを提供した。

アクセス回数（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

13箇所合計 40,207アクセス

(5) 観光用デジタルサイネージ整備

多言語対応のデジタルサイネージ（電子看板）については、季節ごとの観光PR動画の配信やイベント告知などに活用し、観光情報を発信した。

(6) 広域連携事業

ア 「高尾山・リニア」地区広域連携事業

八王子市、大月市、都留市、相模原市及びあきる野市の5市（以下「連携5市」という。）で連絡会を組織し、欧米豪を中心とした訪日外国人旅行者の誘客促進を図った。

(ア) 一般社団法人関東広域観光機構への入会

新型コロナの影響により、令和3年度に一般社団法人関東観光広域連携事業推進協議会を脱退したが、新型コロナが収束に向かい、インバウンドが回復傾向にあることから、改めて国事業を活用し、積極的な事業展開を図っていくため、連携5市において、一般社団法人関東広域観光機構に入会した。

(イ) 観光情報ポータルサイトの運用・保守

連携5市により立ち上げた英語版観光情報ポータルサイト（TOKYO WESTSIDE）を運用し、情報発信した。

目標（WEBサイトPV数） 11,466

実績（WEBサイトPV数） 35,626（達成率310%）

(ウ) EXPAT EXPOへの出展

在日外国人向けイベント「EXPAT EXPO TOKYO 2023」へブース出展し、PRを行った。

実績（ブース訪問者数） 延べ563人（内外国人数324人）

イ 秋川溪谷観光経済統計調査事業

平成30年度から令和4年度まで、あきる野市、檜原村及び日の出町の3市町村における観光産業がもたらす経済効果等を把握するための調査を行った。

市長会による多摩・島しょ広域連携助成金を利用したため、市町村共同事業助成事業報告会において、秋川溪谷観光経済統計調査5か年分の報告を行った。

(7) ふるさと文化創生事業

地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源としてPRするため、「あきる野市ゆかりの人パンフレット」及び「五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット」を観光案内所等で配布し、郷土愛の醸成を図った。

ア あきる野市ゆかりの人事業

あきる野市ゆかりの人展示

開催日 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで（年末年始を除く。）

来場者数 173人

イ あきる野の匠事業

あきる野の自然、歴史及び文化から生まれ、先代から受け継がれてきた伝統の味、技法、熟練の技術などの承継者を「あきる野の匠」として認定しており、令和5年度は14人の「あきる野の匠」が手掛ける魅力ある商品等を市内外問わず広く発信し、商品の需要拡大を図るとともに、匠の技等の承継につなげ、もって観光客の増加及び郷土愛の醸成を図った。

（8）デザインマンホール蓋設置・活用等推進事業

観光客の誘客及び地域活性化を図るため、デザインマンホールが描かれた2種類のマンホールカードを作成し、配布した。

ア 森っこサンちゃん「お祭り」版 配布枚数 2,693枚

イ 森っこサンちゃん「石舟橋」版 配布枚数 2,818枚

（9）観光ポスター作成・配布

あきる野市への観光誘客及び郷土愛の醸成を目的に、ポスターの秋号及び春号について、それぞれB1サイズ350部を作成し、JR拝島駅、秋川駅、東秋留駅、武蔵五日市駅及び市内各所に掲出・宣伝した。

2 秋川溪谷観光プロモーション事業

秋川溪谷のブランド化を図るため、「秋川溪谷の魅力」を伝える観光プロモーション事業を展開した。

（1）民間事業者等との連携による観光プロモーション事業

ア 秋川溪谷観光関係機関連絡会との連携事業

観光プロモーション事業の企画、立案及び実施を推進した。

イ 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）との連携事業

JAF東京支部が主催する連絡会に多摩の7自治体とともに参加し、イベント開催に向けた意見交換を行った。

ウ 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）との連携事業

（ア）「青梅線・五日市線」観光キャンペーン

JR東日本八王子支社と連携し、秋川溪谷の魅力を紹介した。

a 観光ポスターの掲出

掲出期間	場所	枚数
令和5年 5月上旬～9月下旬	首都圏本部、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社及び千葉支社管轄の主要駅	800枚
10月上旬～11月下旬	首都圏本部、横浜支社、八王子支社、大宮支社及び千葉支社管轄の主要駅	750枚

ｂ 観光キャラバン

J R 東日本八王子支社が主催となり、青梅市及び奥多摩町とともに、公式マスコットキャラクターのグリーティングや観光パンフレット等の配布などによる観光 P R 活動を実施した。

開催期間	場所	配布物
令和 5 年 4 月 1 6 日	国分寺駅、三鷹駅	観光パンフレットなど (1 , 0 0 0 部)
4 月 1 8 日	阿佐ヶ谷駅、高円寺駅	観光パンフレットなど (1 , 0 0 0 部)
4 月 2 1 日	武蔵小杉駅、武蔵溝ノ口駅	観光パンフレットなど (1 , 0 0 0 部)
1 0 月 3 1 日	武蔵溝ノ口駅	観光パンフレットなど (5 0 0 部)
1 1 月 1 日	中野駅	観光パンフレットなど (5 0 0 部)
1 1 月 2 日	立川駅	観光パンフレットなど (5 0 0 部)

(イ) 駅からハイキング

秋川渓谷への誘客を図るため、観光スポット等をめぐるウォーキングイベントに参画した。

開催日	コース名	参加者数
令和 5 年 5 月 1 日 ～ 3 0 日 ※毎週水曜日を除く	～秋川渓谷～農の大地と秋川を巡り、名産物を堪能するハイキング	8 5 8 人
1 1 月 3 日 ～ 1 2 月 3 日 ※毎週水曜日を除く	都心から 6 0 分の大自然「秋川渓谷」で、紅葉狩りと閉校した小学校めぐり	7 7 1 人

エ 西多摩地域広域行政圏協議会主催事業

西多摩地域 8 市町村の協働による観光客誘致 P R を実施した。

開催日	令和 5 年 9 月 2 3 日、2 4 日
場 所	イオンモール日の出 1 階メインコート
内 容	観光パンフレットの配布、森っこサンちゃんグリーティング、特産品販売

(2) イベント出展等による観光誘客事業

ア 東京観光情報センター多摩

開催日	令和 5 年 8 月 1 日～ 3 1 日
場 所	立川駅エキュート 3 階 東京観光情報センター多摩
内 容	観光パンフレットの配布、パネル及びポスターの展示

イ 東京観光情報センター

開催日	令和 5 年 6 月 1 日～ 1 5 日
場 所	都庁第一本庁舎 1 階 東京観光情報センター
内 容	観光パンフレットの配布、パネル及びポスターの展示

(3) 観光関係雑誌及び新聞等による紹介・宣伝

各種行事及び市内観光施設等について、雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

媒 体	回 数	媒 体	回 数
地域情報誌	1	W E B	1 1
フリーペーパー	7	テレビ	1 3
書 籍	3	ポスター、デジタルサイネージ	3
新 聞	3	合 計	4 1

(4) S N S (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の活用

ア あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

- (ア) 期 間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで（366日）
- (イ) 投稿回数 36回（1週当たり平均約0.7回投稿）※1年間を52週とする。
- (ウ) 各投稿の平均閲覧回数 約2,048回（複数回閲覧者含む。）
- (エ) 各投稿の合計閲覧回数 73,729回（複数回閲覧者含む。）
- (オ) 各投稿の平均閲覧人数 約1,789人（ファン以外を含む。）
- (カ) 各投稿の合計閲覧人数 64,390人（ファン以外を含む。）
- ※ 各投稿の平均は、合計の閲覧回数・閲覧人数から算出
- (キ) ファン数 3,454人（令和6年3月31日現在）
- ※ 令和5年3月31日時点は、3,323人

イ 秋川渓谷LINEアカウント

- (ア) 期 間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで（366日）
- (イ) ホーム投稿回数 48回（1週当たり平均0.9回投稿）
- (ウ) 各発信の平均閲覧回数 約700回（複数回閲覧者含む。）
- (エ) 各発信の合計閲覧回数 33,590回（複数回閲覧者含む。）
- ※ 各発信の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は、投稿・配信日の数字から算出
- (オ) 友達数（注1） 3,098人（令和6年3月31日現在）
- ※1 うち有効友達数（注2）2,025人
- ※2 令和5年3月31日時点は、2,901人（うち有効友達数1,788人）
- （注1）…秋川渓谷LINEアカウントからの通知を受け取る設定をした方の数
- （注2）…友達数から、通知の受け取りを拒否した方の数を引いた数

（5）観光パンフレット等の作成

ア 秋川渓谷リーフレット（日本語）

春・夏版 30,000部、秋・冬版 30,000部

イ 秋川渓谷総合マップ 50,000部

（6）秋川渓谷観光デジタルフォトコンテスト

秋川渓谷を中心とした写真を募集し、広く情報を発信する市民参加型のイベントとして、フォトコンテストを2回開催した。また、応募作品の一部を秋川渓谷の魅力発信のため、観光パンフレット等の写真データとして使用した。

ア 第15回（春・夏の部） テーマ「うららかな春・すずやかな夏」

- (ア) 応募期間 令和5年7月15日から8月31日まで
- (イ) 応募作品 88作品
- (ウ) 受 賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

イ 第16回（秋・冬の部） テーマ「あざやかな秋・きららかな冬」

- (ア) 応募期間 令和5年12月15日から令和6年2月15日まで
- (イ) 応募作品 83作品
- (ウ) 受 賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

（7）秋川渓谷ロゴマークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川渓谷を広くPRするため、秋川渓谷ロゴマークを定め、活用を図った。

ア ロゴマークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

(ア) 使用申請 2 件 (イ) 使用承認 2 件

イ 啓発用品の掲出・配布

ロゴマークを刷り込んだ啓発用品を掲出・配布した。

(ア) のぼり旗・ミニのぼり旗 公共施設、観光施設等に掲出

(イ) ステッカー 市庁用自動車に貼付

(ウ) マグネットシート 市庁用自動車に貼付

(エ) 秋川渓谷ロゴ入りポロシャツ 214 枚作成

(8) 「森っこサンちゃん」LINE スタンプ製作

LINE アカウント「秋川渓谷」を活用し、秋川渓谷観光プロモーションを推進するため、森っこサンちゃんのオリジナルLINE スタンプを販売した。

LINE スタンプ販売数 101 ダウンロード (3, 782 円)

(9) 石舟橋イルミネーションの開催

優れた自然の風景地の保護に配慮しつつ、秩父多摩甲斐国立公園の利用増進を図るとともに、閑散期となる冬季の誘客促進を図るため、石舟橋及び秋川渓谷瀬音の湯周辺をイルミネーションで装飾した。

開催期間 令和5年12月15日から令和6年1月28日まで

3 秋川渓谷観光施設維持管理事業

秋川渓谷に係る観光施設等を観光資源として継続的に保存するため、適正に維持管理した。また、より魅力的な観光ルートを整備するため、眺望確保や訪日外国人旅行者に対応した英語表記による観光案内看板を設置した。

(1) 秋川渓谷観光情報コーナーの運営管理

秋川渓谷観光の玄関口である武蔵五日市駅の改札外に、観光資源の魅力発信拠点として設置した「秋川渓谷観光情報コーナー」において、観光パンフレット等の配架や秋川渓谷Wi-Fiの提供、デジタルサイネージによる多言語情報の発信を行うことで、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備を図った。

(2) 歩行者用誘導標識の整備

観光客の周遊性向上及び地域の魅力発信を図るため、歩行者用誘導標識2基を整備した。英語による案内を併記することで、訪日外国人旅行者の受入れ環境整備を行った。

(3) 森林資源を活用した魅力創出事業

ア 乙津地区（馬頭刈山）景観伐採等事業

馬頭刈山にある関東の富士見百景の眺望を確保するため、伐採を実施した。

イ 長岳周辺景観伐採等事業

長岳周辺の登山道の眺望を確保するため、伐採を実施した。また、歩道整備として、登山道にある腐朽又は欠損した木製階段の取替えを実施した。

ウ 戸倉城山周辺園地整備等事業

歩道整備として、十里木登山道に木製階段を設置した。

(4) 観光ルート草刈り等事業

観光遊歩道、観光施設等周辺の除草作業、草刈作業、植栽管理を実施した。

4 観光トイレ維持管理事業

秋川溪谷を訪れた観光客に快適に利用してもらうことを目的として、ハイキングコース上などにある観光トイレの整備及び維持管理を行った。

5 秋川流域持続可能なツーリズム推進事業

秋川溪谷戸倉体験研修センター3階にある「秋川流域ジオ情報室」において、秋川流域に存在する地域資源を季節ごとに紹介する展示物等の作成や解説を実施するなど、来訪者の対応を行った。

年間来訪者 7, 140人

6 ふるさと工房運営事業

紙すき体験や講習会を実施することにより、東京都指定無形文化財「軍道紙」の保存伝承及びPRを行った。

(1) 小学校体験学習件数 28校(市内8校、市外20校) 1, 933人

(2) 軍道紙保存会への保存伝承事業委託料 9, 067, 000円

7 指定管理者による管理

指定管理者の能力を活用し、市民等に対する観光行政サービスの効果及び効率を高めることができた。

(1) 観光施設

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数
秋川橋河川公園	一般社団法人 あきる野市観光協会	令和2年 4月1日～ 令和7年 3月31日	45, 209人
第1水辺公園リバー サイドパークの谷			714人
第4水辺公園秋川 ふれあいランド			1, 925人

(2) 十里木・長岳観光施設

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数
秋川溪谷瀬音の湯	新四季創造株式会社	令和2年 4月1日～ 令和7年 3月31日	温泉 215, 690人
			宿泊 5, 326人
			レストラン 51, 573人
			直売 78, 243人
			合計 350, 832人

※ レストランは令和5年4月から委託を実施

(3) 秋川溪谷戸倉体験研修センター

施設名	指定管理者	指定期間	利用者数
秋川溪谷戸倉体験 研修センター	新四季創造株式会社	令和5年 4月1日～ 令和10年 3月31日	体験 1, 551人
			宿泊 1, 840人
			飲食 12, 564人
			研修室 4, 352人
			見学等 5, 155人
			合計 25, 462人

8 フィルムコミッション事業

(1) 撮影支援

映画・テレビ・CMなどの撮影がスムーズに進行するための環境を整えるとともに、経済振興・誘客効果・地域の魅力を再認識するために、撮影を誘致及び支援した。

ア 撮影問合せ及び実施件数

ロケ地等問合せ件数 156件（うち撮影実施件数44件、実施率28.2%）

月	問合せ件数（合計）				撮影実施件数			
	合計	内訳			件数	内訳		
		映画	テレビ	その他		映画	テレビ	その他
4	18	3	14	1	7	1	6	0
5	18	1	12	5	9	1	5	3
6	15	1	6	8	5	0	4	1
7	18	2	12	4	3	0	3	0
8	7	1	5	1	2	0	2	0
9	12	4	4	4	3	1	1	1
10	11	1	6	4	2	0	1	1
11	14	2	10	2	3	0	3	0
12	7	0	3	4	1	0	0	1
1	7	1	2	4	1	0	0	1
2	19	5	7	7	7	2	4	1
3	10	3	3	4	1	0	0	1
合計	156	24	84	48	44	5	29	10

イ 撮影における直接経済効果

(ア) 市施設使用料収入

- a 使用施設 総合グラウンド（ソフトボール場及びクラブハウス）、市民球場、秋川グリーンスポーツ公園、御堂会館、千代里会館
- b 使用回数 5回
- c 使用料総額 459,750円

(イ) 寄付

- a 寄付理由 あきる野市役所本庁舎、五日市出張所、五日市会館、五日市地域交流センター、武蔵五日市駅前ロータリーの使用による
- b 寄付件数 4件
- c 寄付金額 260,000円

(ウ) 民間施設等使用料

- a 使用施設 民家、宿泊施設、飲食店
- b 使用箇所 3か所
- c 使用料総額 3,560,000円

(エ) 市内業者へのロケ弁当等注文

- a 注文回数 2回
- b 注文金額 590,300円

ウ 撮影における間接効果

(ア) 認知度及び好感度の向上

テレビをはじめとしたメディアに市が取り上げられることで、市の一般的な認知度及び好

感度を高めた。

(イ) 郷土愛の醸成

テレビをはじめとしたメディアに市が取り上げられることで、市民が地元の良さを再確認し、地元への誇りを向上させた。

(ウ) 市民の交流

市内でのテレビや映画などの撮影に際し、市民の協力を得ることで、市民に共通の話題提供と交流を促した。

(2) 映像・画像提供

市で独自に撮影し、保存している市内景勝地などの動画素材をテレビ番組等に提供した。

映像提供件数 12件

9 武蔵五日市駅前市有地活用事業

秋川流域の活性化に向け、令和5年8月に策定した武蔵五日市駅前市有地活用計画に基づき、拠点施設を整備するため、設計業務等を実施した。

件名	受注者	金額
R5 武蔵五日市駅前拠点施設建設工事設計業務委託	株式会社アルセッド建築研究所	28,710,000円
武蔵五日市駅前拠点施設用地測量業務委託	有限会社あきる野測量設計	4,793,800円
R5 武蔵五日市駅前拠点施設地盤調査業務委託	サンエー基礎調査株式会社	1,562,000円
合 計		35,065,800円